

令和 6 年度厚生労働行政推進調査事業補助金
政策科学総合研究事業(政策科学推進事業)

「DPCデータを用いた入院医療の評価・検証及びDPCデータベースの利活用に資する研究」
分担研究報告書

就労・両立支援指導管理料の算定から考える病院の課題

研究協力者 青山瑤子（産業医科大学医学部公衆衛生学 大学院生）
研究協力者 渡邊文雄（産業医科大学医学部公衆衛生学 大学院生）
研究協力者 得津慶（産業医科大学医学部公衆衛生学 助教）
研究協力者 栗田智子（産業医科大学医学部産婦人科 准教授）
研究協力者 吉野潔（産業医科大学医学部産婦人科 教授）
研究協力者 立石清一郎（産業生態科学研究所 災害産業保健センター 教授）
研究分担者 松田晋哉（産業医科大学医学部公衆衛生学 教授）

【要約】

A. 研究目的：2018 年に医療制度に療養・就労両立支援指導料が導入されて以降、医療職にも両立支援の早急な周知が望まれているが、病院側に両立支援の概念共有が普及しているとはまだ言い難い。療養・両立支援指導料の算定件数や対象疾患などを調査し、現状や実際の運用について調査することを目的とした。さらに、悪性腫瘍におけるがん診療拠点病院の算定割合を調査し、両立支援における病院側の課題を考察した。

B. 資料及び方法：本研究は入退院後の患者を対象とし、Diagnosis procedure combination (DPC) データと外来 EF ファイルを連携させ、2018 年 4 月から 2022 年 3 月までに療養・両立支援指導料を算定された 916 件を対象とし、後方視的に分析した。本研究は産業医科大学倫理審査委員会の承認（承認番号：第 R4-046 号）を得た。

C. 結果：2019 年度から 2020 年度にかけて療養・両立支援指導料の算定は急激な増加を認めた。対象者の年齢中央値は 50.1 歳であった。福岡県と東京都の 2 つを合わせた算定件数は、全体の 46.6%であった。悪性腫瘍の診断がついた件数は 756 件で全体の 84.7%であった。全算定件数の 82.5%ががん診療連携拠点病院による算定であった。

D. 結論：算定件数に地域差を認めた。算定の大部分はがん診療拠点病院で行われていたが、その一方で、がん診療拠点病院の 65.5%が指導料を算定していなかった。やはり多くの病院側に「治療と仕事の両立支援」という概念自体の周知が不十分であることが課題であり、この支援制度の啓発活動を更に強化していく必要がある

参考文献

1. 治療と仕事の両立支援ナビ

<https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp/>

2. 治療と職業生活の両立支援についての取り組み

<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10901000-Kenkoukyoku-Soumuka/0000213499.pdf>

3. 永田昌子. 職域と医療機関の連携・協働 勤務情報提供書と主治医意見書から. 46:12-15

4. (総務省 統計トピックス No.142 「統計からみた我が国の高齢者」(2024年9月

<https://www.stat.go.jp/data/topics/pdf/topics142.pdf>)

5. Shigemi D, Morishima T, Yamana H, Yasunaga H, Miyashiro I (2021) Validity of initial cancer diagnoses in the Diagnosis Procedure Combination data in Japan. 74:102016

6. [労働力調査 労働力調査年報 労働力調査年報 年次 2018年 | ファイル | 統計データを探す | 政府統計の総合窓口](#)
<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&tokei=00200531&tstat=000001226891&cycle=7&year=20180&month=0&tclass1=00000122>

[7003&result_back=1&tclass2val=0](#)

7. 国立がん研究センターがん対策情報センター. がん情報 サービス ; 最新がん統計 (online) 2021 (2021年4月9日 アクセス) ; Available from: URL:

https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/summary.html

8. 加来 佐和子, がん専門病院における就労相談・支援内容の実態調査, 産衛誌 2022; 64 (6) : 337-344

9. 金子善博(2023) 【治療と仕事の両立支援の現在】治療と仕事の両立支援の現状 両立支援コーディネーターの役割・養成の現状と今後の展開. 46:8-11

10. 武藤剛, 総合健診 2018年45巻2号, 治療と職業生活の両立支援一連携による重症化予防と Fitness for Work

11. 藤野善久, J UOEH (産業医科大学雑誌) 35 (4) :291-297 (2013) 英国における就業支援制度-Statement of Fitness for Work-導入の背景と 運用に関する調査報告

12. Shigemi D, Morishima T, Yamana H, Yasunaga H, Miyashiro I (2021) Validity of initial cancer diagnoses in the Diagnosis Procedure Combination data in Japan. 74:102016